

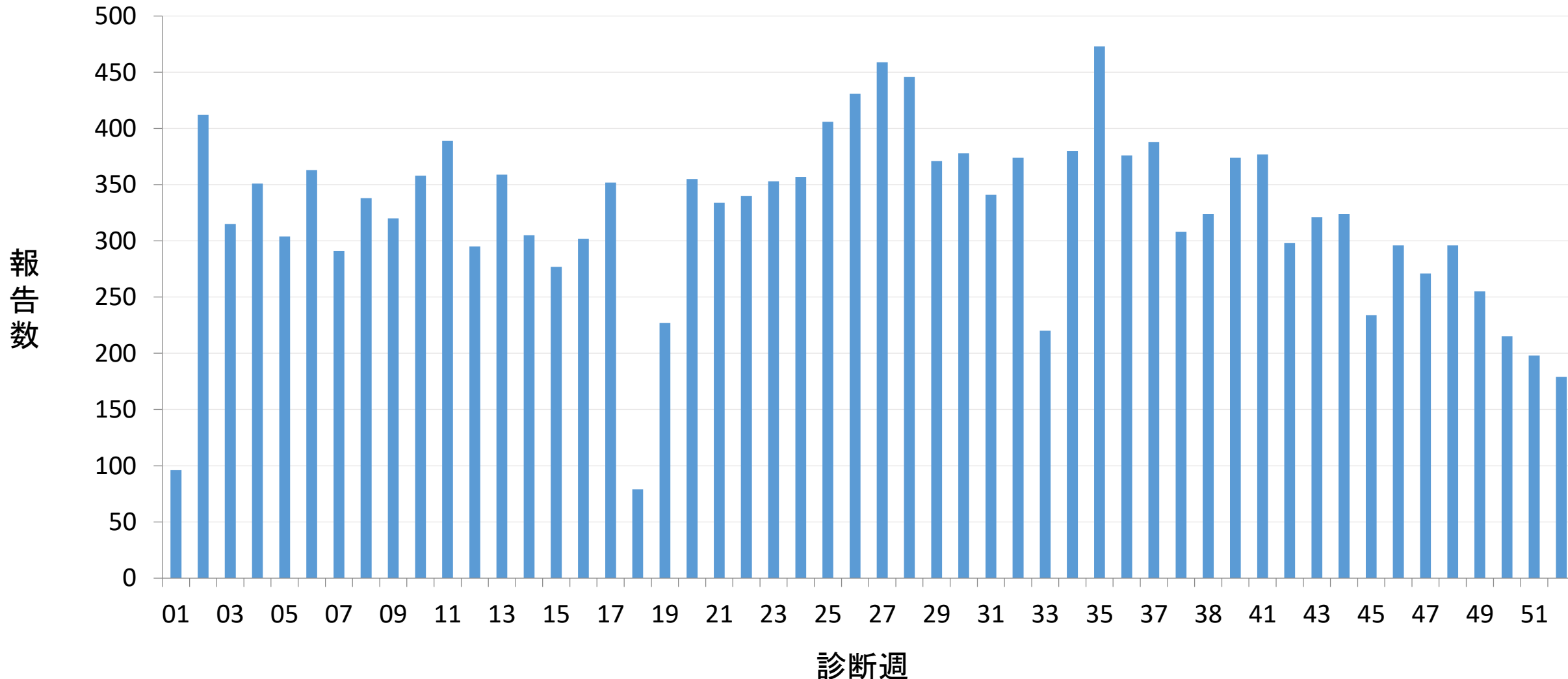
2019年第1週から第52週(*)までにNESID に報告された百日咳患者のまとめ

2019年第52週週報データ集計時点

国立感染症研究所

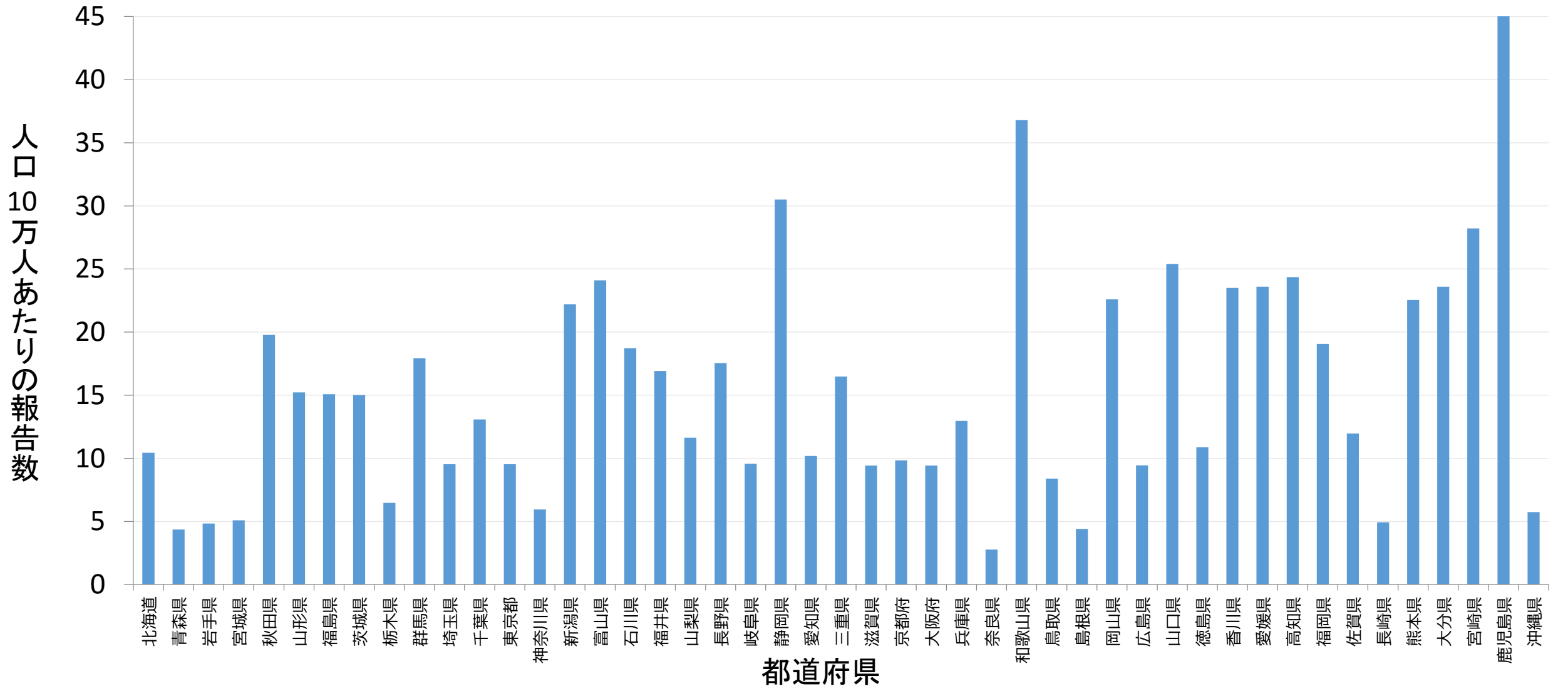
(*)第1週～第52週(2018年12月31日～2019年12月29日)

診断週別全百日咳患者報告数 (2019年第1週～第52週)(n=16,785)



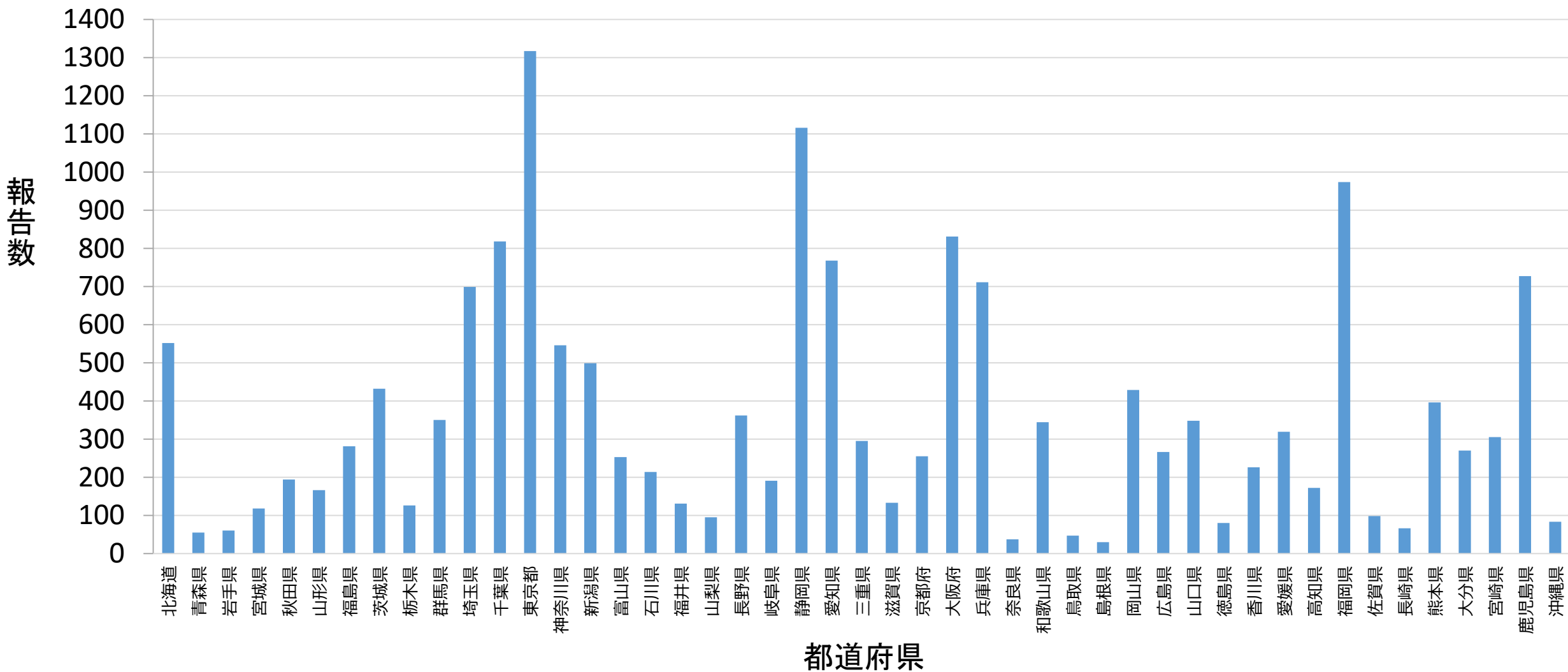
週の平均報告数: 323例 (範囲: 79~473例)

人口10万人あたりの都道府県別百日咳 報告患者数(2019年第1週～第52週)(n=16,785)

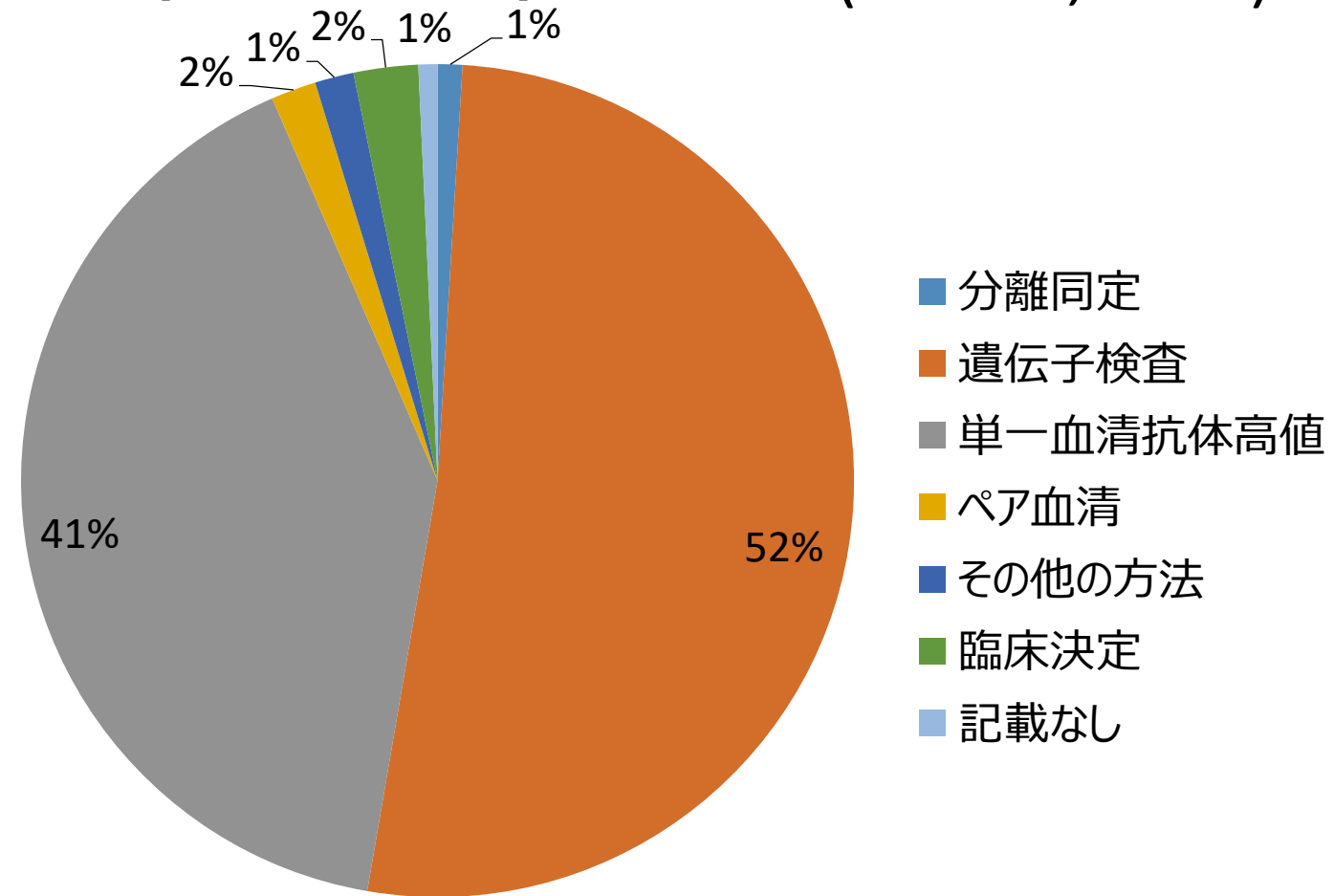


総務省統計局 2018年10月1日現在人口に基づき算出

都道府県別百日咳報告患者数 (2019年第1週～第52週)(n=16,785)

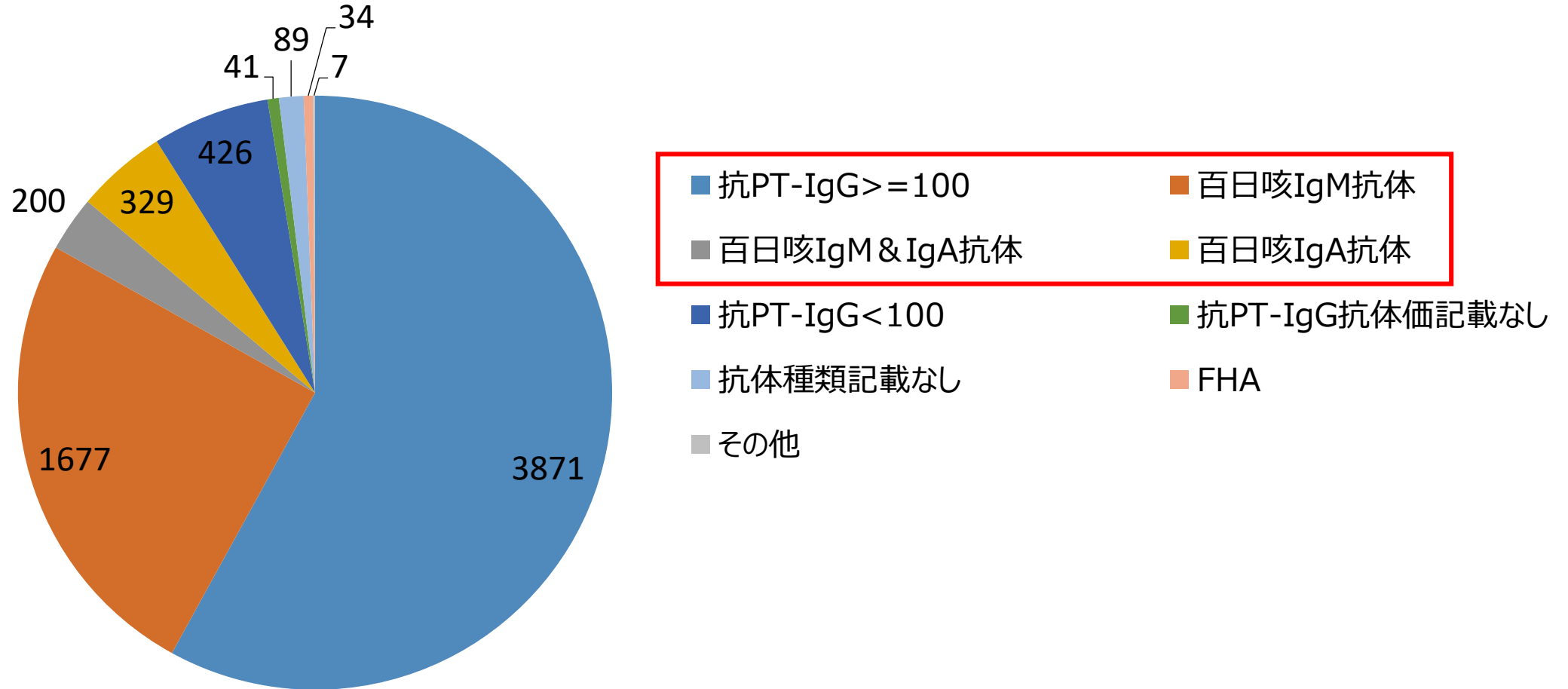


百日咳報告患者の診断方法 (2019年第1週～第52週)(n=16,785)



複数の検査法の記載がある場合、分離同定→遺伝子検査→ペア血清→単一血清抗体価高値の順に一つの診断法を決定
例) 分離同定と単一血清抗体価高値の記載がある場合には、分離同定を診断法とする

「単一血清の抗体価高値」を診断根拠に届けられた百日咳報告患者 (n=6,674) の検査結果内訳

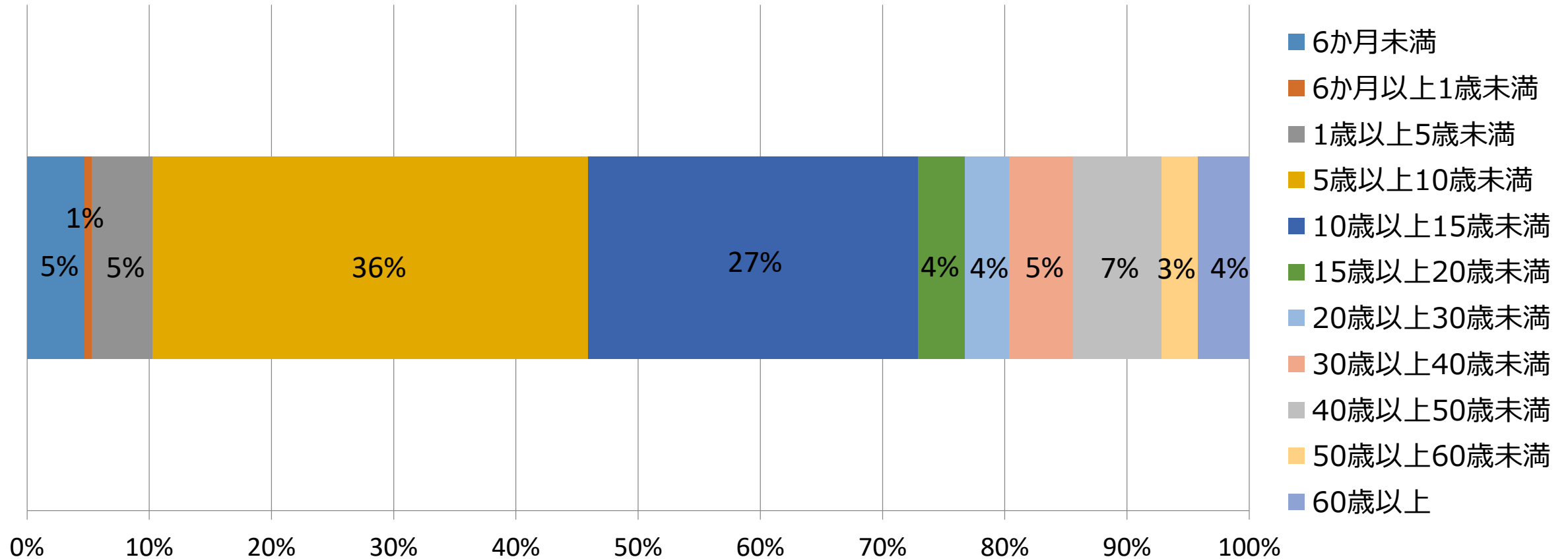


報告の約91%が届出ガイドライン*の診断基準を満たしていた（赤い四角の枠内）

(*)百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン（初版）

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/610-disease-based/ha/pertussis/idsc/7994-pertussis-guideline-180425.html>

届出ガイドラインの診断基準を満たした 百日咳患者症例(*) (n=15,974)の各年齢群の割合 (2019年第1週～第52週)



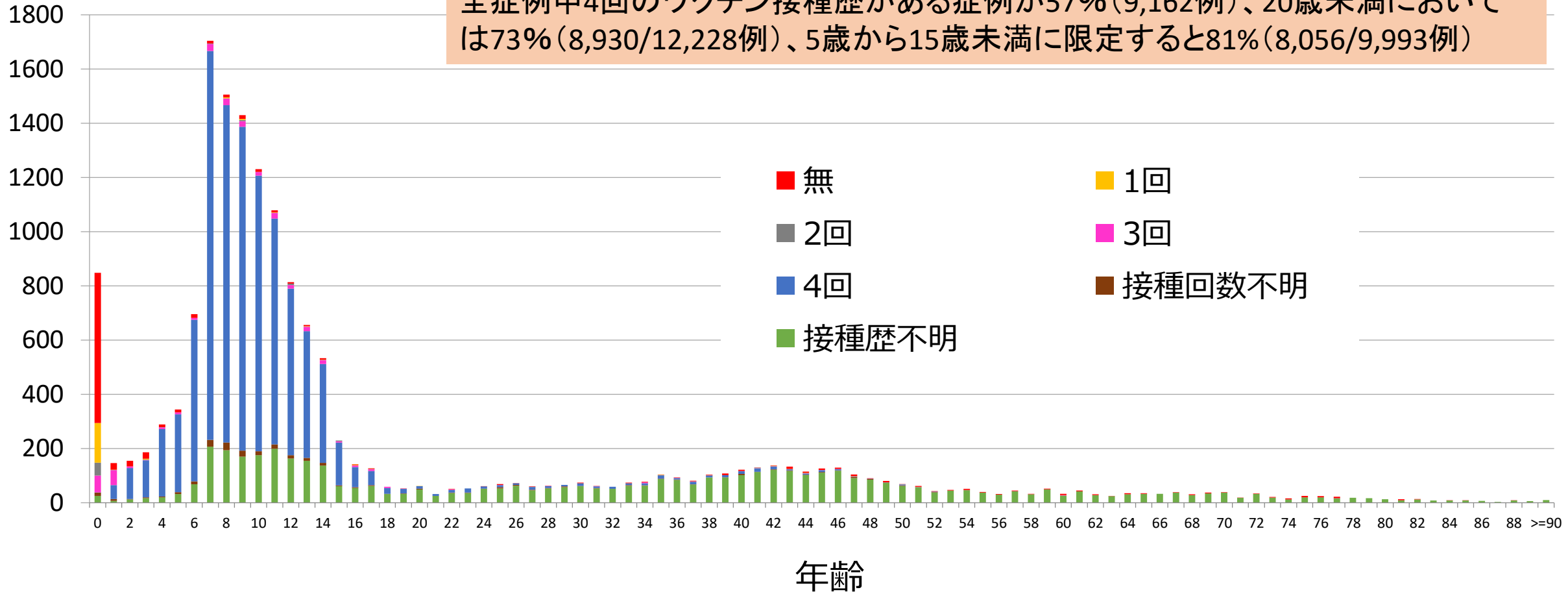
(*)百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン（初版）に則った症例のみを抽出

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/610-disease-based/ha/pertussis/idsc/7994-pertussis-guideline-180425.html>

届出ガイドラインの診断基準を満たした百日咳患者症例(*) (n=15,974)の年齢分布 (2019年第1週～第52週)

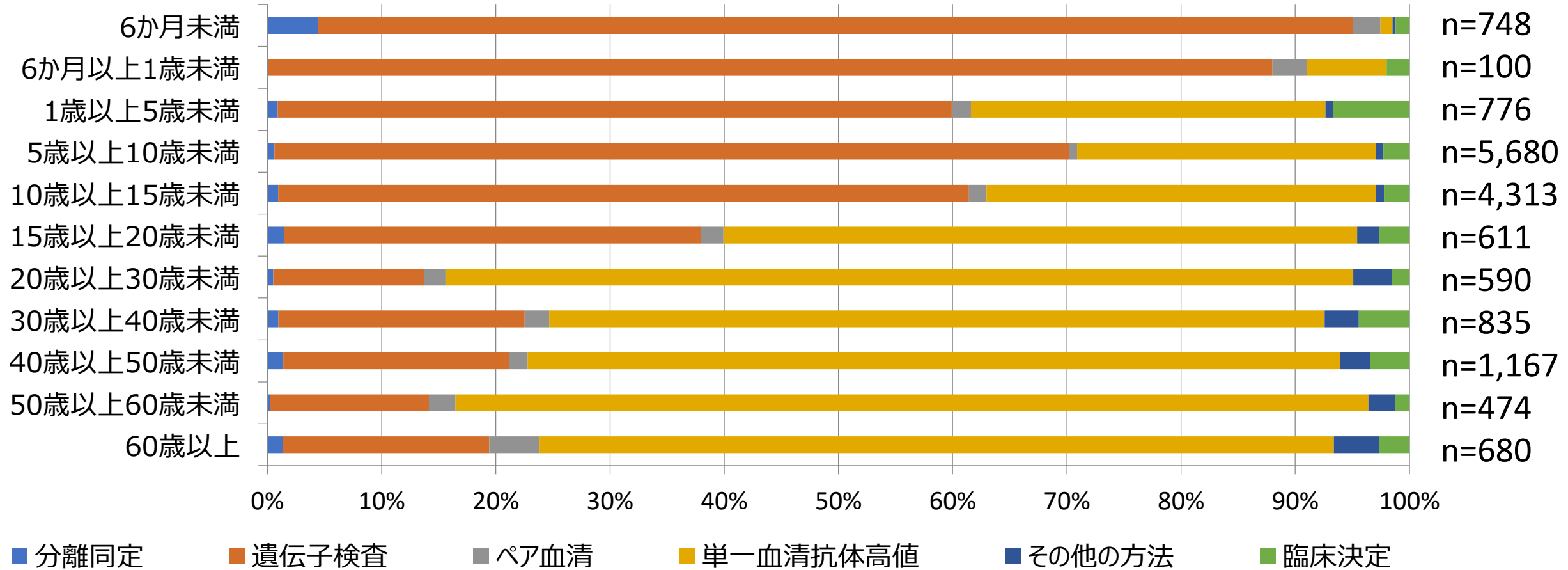
全症例中4回のワクチン接種歴がある症例が57% (9,162例)、20歳未満においては73% (8,930/12,228例)、5歳から15歳未満に限定すると81% (8,056/9,993例)

報告数



(*)百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン (初版) に則った症例のみを抽出
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/610-disease-based/ha/pertussis/idsc/7994-pertussis-guideline-180425.html>

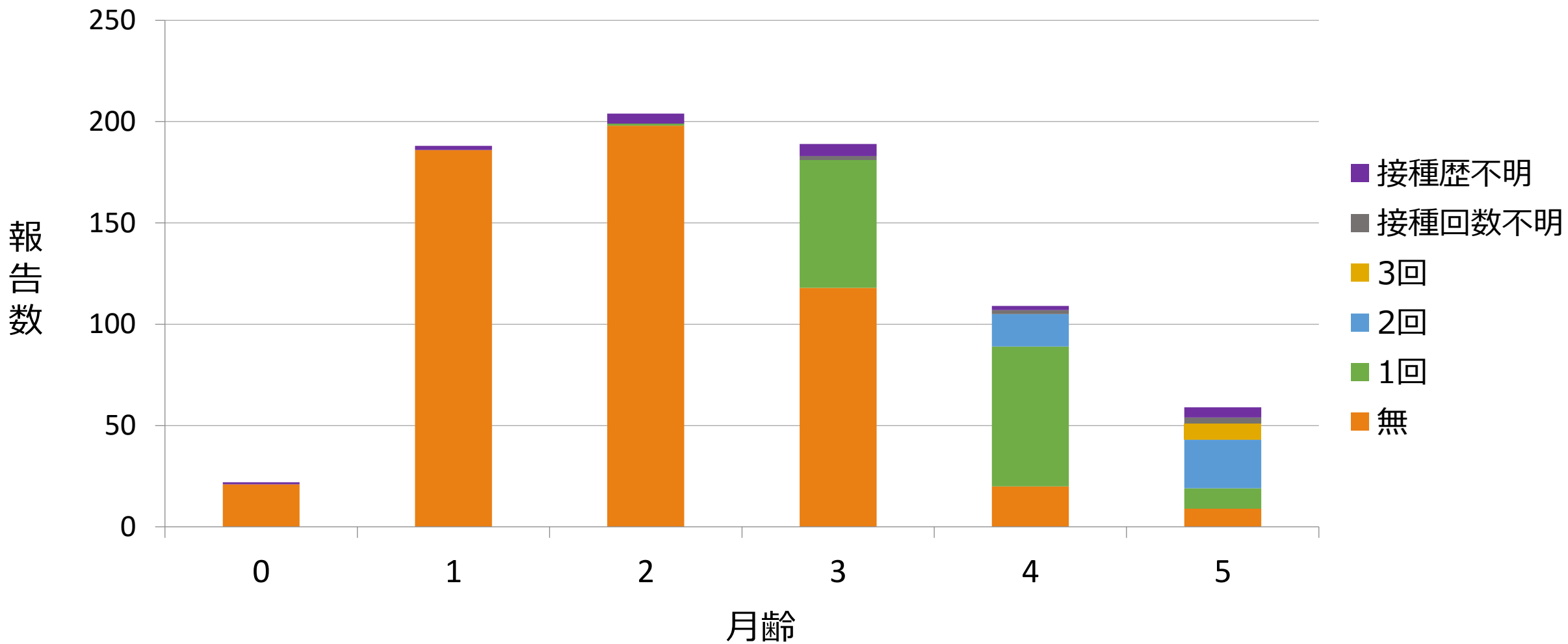
届出ガイドラインの診断基準を満たした百日咳症例(*)の年齢群別百日咳診断検査法の割合 (2019年第1週～第52週) (n=15,974)



(*)百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン（初版）に則った症例のみを抽出

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/610-disease-based/ha/pertussis/idsc/7994-pertussis-guideline-180425.html>

6か月未満症例の月齢別報告数(ワクチン接種歴別) (2019年第1週～第52週) (n=771)



6か月未満症例の感染経路 (2019年第1週～第52週) (n=771)

推定感染経路	N (重複あり)	%
母親	109	14
父親	145	19
同胞	294	38
祖父母	45	6
家族内その他	27	4

家族内その他の内訳：いとこ(10)、おば(7)、おじ(7)、甥または姪(3)

上記以外：家族内不明 151(20%)、その他 7(1%)、不明 136(18%)

6か月未満症例の臨床症状・臨床経過 (2019年第1週～第52週) (n=771)

●NESID記載の症状

症状	N (重複あり)	%
チアノーゼ	217	28
無呼吸発作	163	21
肺炎	28	4
痙攣	2	0.3
脳症	0	0

上記以外で報告数が多い上位3症状

持続する咳	660	86
夜間の咳き込み	616	80
スタカート	386	50

●NESID記載の転帰：死亡 1例

今回のまとめ

◆2019年第4四半期時点での百日咳報告患者についてまとめた

- 全報告百日咳患者数 16,785例
- 届出ガイドラインの診断基準を満たした百日咳患者数 15,974例
 - うち4回のDPTワクチン接種歴有の割合 57% (5~15歳未満に限定すると81%)
 - 入院例 264例

◆6か月未満、7歳をピークとした5~15歳、成人では40代に患者集積あり

◆小児ではLAMP法による診断、成人では単一血清抗体価による診断の割合が高いが、2018年と比べて全体的に遺伝子検査の割合が増加

【参考】百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン(初版)

- 感染研のホームページをご覧ください

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/id/610-disease-based/ha/pertussis/idsc/7994-pertussis-guideline-180425.html>

- 届出ガイドラインは保健所に届け出る基準を示しており、臨床診断を目的としたガイドラインではない
⇒統一した基準で全国の百日咳の疫学情報を収集する目的
- 届出ガイドラインを満たさない百日咳症例(臨床診断例)もあり得る(治療や感染拡大防止策は同じ)